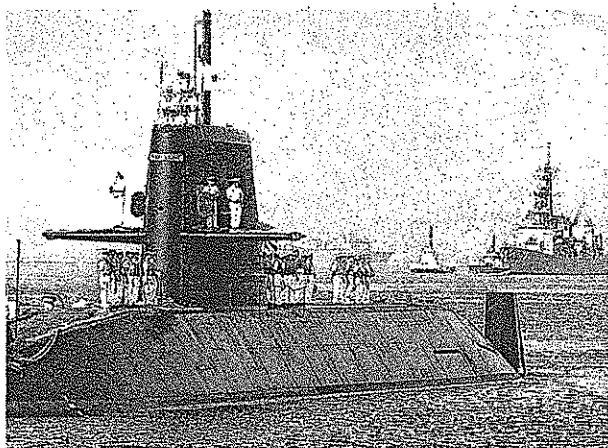


4/4  
福井

# 海自潜水艦 比に入港

## 南シナ海で中国けん制

護衛艦も



フィリピン・ルソン島のスービック港に入港する海上自衛隊の練習潜水艦「おやしお」。右奥は護衛艦「ありあけ」= 3日

【マニラ共同】海上自衛隊の護衛艦「ありあけ」「せとぎり」と練習潜水艦「おやし

お」が3日、南シナ海に面するフィリピン・ルソン島のスービック港に入港した。対潜

ヘリコプターや哨戒機のパイロットをしている初級幹部自衛官の練習航海の一環で、潜水艦の参加は15年ぶりとなった。海自の潜水艦のフィリピン寄港も15年ぶり。

潜水艦を除く護衛艦2隻は6日に出港し、南シナ海を通じてベトナムのカムラン湾に向かう。日本側には、南シナ

海の軍事拠点を進める中国と対立するフィリピンとベトナムへの寄港で両国との関係強化を示し、中国をけん制する狙いがあるとみられる。

海自第1練習潜水隊司令の

吉野宏昭1佐は「周辺国による潜水艦の活動が目立ってきている。対潜水艦作戦の能力をより一層高めなければならぬ」と、潜水艦を同行させた狙いを説明。初級幹部

自衛官は、潜水艦を対象にしてより実戦に近い訓練を積んだ。

政府はフィリピンとの防衛協力関係を強化しており、今月下旬には中谷元・防衛相がフィリピンを訪問する。南シナ海での警戒監視活動に向け、海自のTC90練習機をフィリピン軍に提供す

るための貸与契約を締結する予定。